ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

2022
5月号
vol. 266

communication x voluntary

特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」

学校に行かない、行けない 不登校のこどもたちに寄り添う

7 8 こども食堂においしいお米を
社員一丸となって取り組む寄付活動
野村不動産株式会社 西日本支社

9 ボラ基金交付団体へ突撃取材
外国人留学生たちに活躍の場を
特定非営利活動法人
For International Students機構

フリースクールでのこどもたち

特集

誰一人取り残さない
SDGs「持続可能な開発目標」

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを

学校に行かない、行けない 不登校のこどもたちに寄り添う

持続可能な開発目標（SDGs）は、貧困や飢餓の解消・格差、質の高い教育などのさまざまな問題を根本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。情報誌『COMVO』の新特集では、SDGsの動きが、普段の私たちの暮らしにどう関わっているか、大阪のボランティア・市民活動でどのように取り組まれているのかを紹介していきます。

不登校は、こどもが自己を受け入れるための時間

昨年度の1月29日（土）、〝こどもの不登校〟をテーマにした『地域こども支援ネットワーク事業シンポジウム』が開催されました。

第一部で基調講演を行った、関西大学大学院教授の石田陽彦さん（以下、石田さん）は、不登校のこどもたちの支援に長年携わり、現在は、奈良県葛城市こども未来創造部スーパーバイザーや、内閣府の『こども・子育て施策総合推進室』の調査検討委員を務めています。

石田さんは講演の中で、10～15歳の自我の目覚めの時期に、「自分は自分」と自己主張することのできないこどもが不登校になる傾向が高いと解説し、

次のように続けます。

「大人にとっての良い子が多く、社会の道徳観・倫理観が自分の欲求より勝ってしまう。周りに合わせる苦悩も大きく、自己肯定感を求めて家の中に引きこもってしまうんですね。」

石田さんは、不登校は、自分のこれからの成長のための行動であり、その子自身の生き方を認めて寄り添うことが大事。家族が不登校を認めて明るくふるまっていると、こどもも次のステップに進みやすくなるとも話します。

また、虐待や養育放棄などによって、学校に通う気力すら失っている無気力型不登校のこどもも多くいると警鐘を鳴らします。

「長く続く人生の中で、学校がこどもを支援できるのは在学中の期間だけ。また『教育機会確保法』※1により、こどもたちは学校以外の場所で教育を受けることも可能になりました。そんな中、学校にかわる受け皿として地域の力が求められており、これからは、教育だけでなく福祉の面でも学校と地域がつながり、縦にも横にも切れ目のない支援をしていくことが大事ではないでしょうか。」

関西大学大学院教授 石田陽彦さん

連携は、都合の良い〝たらいまわし〟の状況を生むこともあります。石田さんは、周囲にいる人すべてが、不登校のこどもや家族から託された思いを抱え込んで支援していくことが大事だと伝えてくれました。

不登校を経験した大人だから伝えられること

シンポジウム第2部のパネルディスカッションにオンラインで参加した浅野康弘さん(以下、浅野さん)は、およそ20年前、中学校時代に不登校になりました。

「僕はもともと真面目な性格で、当時は優等生のキャラクターでした。ところが中学1年生の夏休み、部活に出かけるのが急に面倒くさくなり、部活を辞めたいとも言い出せず、そこから仮病を使って部活を休むようになりました」と、浅野さん。

新学期が始まっても不登校の日々が続き、先生から電話で学校に来ない理由を聞かれても、その時の自分の気持ちを伝えることができなかったと振り返ります。

不登校の経験を話してくれた浅野康弘さん

両親の理解もあり、自宅で半年間過ごしていた浅野さんが出会ったのが、自宅に訪ねてきた友人に誘われたフリースクールです。

「学校に行かない子が集まっている場所があると知り、見学後、両親にお願いして通い始めました。自分にとって、動き出すエネルギーが充満したタイミングだったのだと思います。両親もスクールの親の会で、抱えていた思いを共有できたことで気持ちが楽になったようでした。」

その後、浅野さんは19歳までフリースクールに通い、社会人となり結婚。現在は一児の父親となり、充実した毎日を過ごしています。

「こどもにも親にも、不登校になることが不利益であるようなイメージを持たないでほしい。いま不登校のこどもたちには、将来のことで思い詰めずに、今しかできない経験を大切にしてほしいと伝えたいです。

また、フリースクールなどの居場所が、身近にない子も多いと思います。僕がフリースクールに通っていた頃、何でも教えてくれるのに、謎の多い不思議なボランティアさんがいたんですが、そんなふんわりとした寄り添い方で、自分たち地域の大人が不登校のこどもたちに関わっていければいいなと思います。」

地域の大人がつながりこどもに寄り添う大切さ

同じくパネルディスカッションで、こどもを支援する現場の声を聞かせてくれたのが、スクールカウンセラーの房村利香さん(以下、房村さん)と、『フリースクール フォロ』で事務局長を務める中嶋千賀さん(以下、中嶋さん)です。

スクールカウンセラーとは、学校の中でカウンセリング業務を行う心理の専門家。1対1でこどもや保護者の声に耳を傾けながら、問題や悩みの解決策を一緒に考えていきます。また、学校の先生

と会議を行い、その中で支援策を考えていくこともあります。

「ひとことに不登校といっても、学校・友達・家庭の問題、ストレス・不安感など、人それぞれに要因があり、いろんなものが複雑に絡み合っています。寄り添い方も一人ひとりで異なりますが、それぞれのこどもが持つ強みや可能性など、ポジティブな側面を大切にしたいと思っています」と、房村さん。

一方、学校を離れたフリースクールという居場所で、こどもたちを支えているのが中嶋さんです。

「私たちは、こどもが学校に行く・行かないということよりも、安心してここにいてもいいと思える場所があることが大事だと考えています。スクール内でこどもたちは自由に過ごしていますが、家に一人で居るのではなく誰かと交流することが居場所の意味だと思っています。こども同士のミーティングも欠かしません。また、親も不安や孤立感を抱いているので、親同士でサポートし合う機会も大切にしています。」

一見、対立しているようにも感じる学校とフリースクールの関係ですが、房村さんは、近年、より複雑化している不登校の問題は、学校の先生やスクールカウンセラーのみで支援を行うだけでは不十分だと感じています。

中嶋さんもまた、学校やフリースクール、こども食堂など、こどもに関わっている場所が情報を共有し合いながら支援を行うことが理想的だと話します。

それぞれに立場は違っても、こどもたちに寄り添いたいという思いは同じ。大阪市では、学校でのこどもに対する気づきを区役所や地域につなぎ、社会全体で支える『大阪市こどもサポートネット』[※2]という取り組みも始まっています。垣根を越えて、地域のこどもをみんなで支える。そんな意識や活動が、今後ますます広がっていきそうです。

異なった立場から、支援現場の声を伝える房村利香さんと中嶋千賀さん

フリースクールでのスポーツ活動

ボランティアスタッフと一緒に勉強

※1　P4で、詳しくご紹介しています。
※2　「大阪市こどもサポートネット」HP
https://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/page/0000431792.html

問合せ
地域こども支援ネットワーク事業 事務局
TEL 06-6765-4041
https://www.osaka-sishakyo.jp/project/child-network/

『フリースクール』ってどんなところ?

フリースクールとは、主に不登校の小中高生が、学校以外で学び、友達と過ごすことのできる居場所のことで、個人やNPO法人、民間企業などが運営しています。

こどもたちの自主性を尊重して活動を行っていることが主な特徴ですが、活動内容や規模はスクールによってさまざまで、授業料なども一様ではありません。

※大阪市内のフリースクールでは、大阪市塾代助成事業を利用できるところもあります。

やりたいことは自分で決める

『大阪府フリースクール等ネットワーク』代表理事の木脇 嶺さんは「フリースクールには、学校のように決まったカリキュラムはありません。こどもたち一人ひとりと相談し、意見を尊重しながら、やりたいことや興味あることを見つけていきます。そうすることで、今後の人生を自分で選び、自己決定できる人になってもらえるように関わっています」と話します。

またフリースクールは、こどもが家族以外の人とつながる場でもあり、社会との大事な接点になっています。このためフリースクール内では多くのボランティアも活動していて、こどもたちの大切な存在となっています。

大阪府フリースクール等ネットワーク
代表理事の木脇嶺さん

校の出席扱いになる場合もあります。

同ネットワーク副理事の橋本あかねさんは「私たちが運営するフリースクールでは、本人や家族の了解を得たうえで、学校と情報共有をしています。学校から教材の提供があったり、時には担任の先生や校長先生が見学に来たりと、少しずつですが学校との連携が取れてきています」と話してくれました。

しかし、地域によっては近くにフリースクールがなく、こどもが一人で通えないなど、まだ課題も多くあります。フリースクールに通う際には「必要なサポートは受けられるか、実際に足を運んでみることが大切で、中には無料体験できるところもありますよ」と木脇さんが教えてくれました。

大阪府フリースクール等ネットワーク
副理事の橋本あかねさん

フリースクールの、いま

近年、不登校のこどもたちを支援する動きが高まってきています。その背景には、不登校の児童・生徒が教育を受ける機会を失わないように定めた『教育機会確保法』があり、学校以外の居場所で学ぶことも重要とされています。

地域の小・中学校と連携しているフリースクールも増えてきており、フリースクールへの登校が在籍

取材協力 大阪府フリースクール等ネットワーク
代表理事 木脇嶺さん(一般社団法人はらいふ)
副 理 事 橋本あかねさん(NPO法人フォロ)

大阪府フリースクール等ネットワークは、不登校のこどもたちをとりまく社会環境をよりよいものに変えていくために府内の団体等がネットワークを形成し、学校や行政機関とともに子どもの権利を保障し、福祉を増進することを目的に活動している団体です。
https://osakafs.net/

[教育機会確保法のポイント]

①「個々の不登校児童生徒の休養の必要性」と定め、こどもの状況によっては学習よりも休むことを優先する必要性を認めています。
②こどもが学習できる状況になったときには、学校以外で学ぶことも重要であると認めています。
③こどもをサポートする基盤として、行政とフリースクールが連携すべきことを定めています。

西成区ボランティア・市民活動センター 災害を知る・体験する・考える『防災企画展』

「防災について考えあう時間をつくりたい」というメンバーの想いをきっかけに、防災・災害ボランティアを取り上げる『防災企画展』が開催されました。

「もしも西成区で災害が起こったら」を考える機会に

西成区役所（西成区合同庁舎）のロビーには、定期的に各団体による様々な展示が企画されており、訪れる区民の目を楽しませています。今回ひときわ目を引く展示は、『ひと花センター』が、ハザードマップをもとに作成した西成区を模したジオラマです。よく見てみると、西部の木津川沿いの道は水で覆われたように青く塗られており、高い建物には「○○小学校 津波避難ビル」と書かれた表示があります。その他パネル展示では、過去に西成区で起きた災害に関する資料や、西成区内での防災・災害ボランティアに関わる取組みの紹介がされており、3月7日と9日には、西成区民ホールを使用した関連イベントも開催されました。

西成を熟知した『ひと花センター』の“おっちゃん”たちの力作です。

メンバーの思いに共感して発展した企画内容

この企画展を開催するきっかけとなったのは、西成区ボランティア・市民活動センター『企画・活動部会』メンバーの「災害は誰もが身近に感じる課題、区民みんなで考え合える時間がとれたらいいね」という想いでした。メンバーには、東日本大震災や熊本地震など遠方まで災害ボランティアに行った経験や、大阪府北部地震や平成30年台風21号での支援活動に参加した人もおり、「まずは自分たちが発信していこう」と話し合い、企画内容を考えました。

当初はボランティア有志による展示のみを企画していましたが、各地域や学校から展示内容の提供があり、また西成区民センターの協力により、開催期間中に区民ホールを会場として、拡大版の展示ができるようになりました。それにあわせて防災講座の開講、西成消防署による起震車体験、西成図書館による災害にまつわる絵本の読み聞かせなど、どんどん内容が充実していきました。それもすべて、メンバーの想いに様々な人が共感したことでカタチになったものでした。

災害はいつ、どこで、どのように起こるのか分からないもの。誰もが被災する当事者になります。だからこそ、幅広い世代に関心を持ってもらうことが重要です。今回の防災企画展には小学生から大人までが参加し、災害に必要な備えを知ることができ、広く災害について考える機会になりました。今後もこの企画展をはじめ、防災・災害ボランティアに関する発信を続けることで、災害に強い西成区として盛り上がっていくことが期待されます。

起震車で震度7を体験。小学生も団体で参加しました。

問合せ

西成区ボランティア・市民活動センター

TEL 06-6656-0080　FAX 06-6656-0668

https://nishinari-shakyo.jp/

2022年度版　ボランティア活動中のもしもの時の安心をサポート

ボランティア活動総合補償制度のご案内

ボランティア活動保険

補償概要	ボランティアの方が日本国内における、ボランティア活動中に、 ①急激かつ偶然な外来の事故によるケガ（傷害補償） ②偶然な事故によって他人の生命や身体を害したり、他人の財物を滅失、破損または汚損した場合に、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害（賠償責任補償）
加入対象	社会福祉協議会で、把握または登録（届出または委嘱等の手続きを経ており）している社会福祉協議会の活動趣旨に準じたボランティア活動を行うボランティア団体、個人
保険期間	毎年４月１日から翌年３月３１日まで
対象活動	①自発的な意思により他人や社会に貢献することを目的とし、日本国内で取り組まれる活動であること ② 所属ボランティア活動団体の会則に則り、企画立案された活動や、社会福祉協議会へ届け出たり、社会福祉協議会の委嘱を受けた活動であること ③ 無償の活動であること（交通費、食事代など費用弁償程度の支給は無償の範囲に含みます）

年間保険料（１人）	Aプラン	Bプラン	Cプラン
	300円	500円	600円

非営利・有償活動団体保険
（団体・グループで加入）

補償概要	非営利・有償活動中に、 ①急激かつ偶然な外来の事故によるケガ（傷害補償） ②偶然な事故によって他人の生命や身体を害したり、他人の財物を滅失、破損または汚損した場合に、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害（賠償責任補償）
加入対象	社会福祉協議会や加入要件を満たした、非営利活動を実施する団体・グループ
保険期間	毎年４月１日から翌年４月１日まで
対象活動	①福祉・文化・保健衛生・自然環境などの分野における『営利目的ではない社会貢献活動』であること （例）配食サービス・訪問サービス・手話通訳・環境調査など ②サービス提供先（利用者）から実費（交通費・食事代・材料費）を超える対価を得ていること ③その他、大阪市の社会福祉協議会と保険会社において適当と認められた活動であること

年間保険料	Aプラン	Bプラン
	加入時期により金額が異なります。 〈Aプラン・Bプラン共通〉 感染症見舞金【オプション】1,870円/人 ※加入時期に関わらず一律	

詳細はパンフレットをご確認ください
大阪市ボランティア・市民活動センターと、各区ボランティア・市民活動センターでご加入いただけます

●お問合せ先

制度運営　大阪市ボランティア・市民活動センター
〒543-0021　大阪市天王寺区東高津町12-10　大阪市立社会福祉センター1F　TEL.06-6765-4041　FAX.06-6765-5618

取扱代理店　各種損害保険・生命保険取扱　株式会社島本保険事務所
〒541-0056　大阪市中央区久太郎町4-1-3　大阪センタービル2階　TEL.06-6252-4519　FAX.06-6245-4686

こども食堂においしいお米を
社員一丸となって取り組む寄付活動

野村不動産株式会社 西日本支社

小さな活動を積み重ねることで、いつか多くの人による支援へとつなげたい。

『野村不動産株式会社　西日本支社』では、そんな思いから『Power for children 大河の一滴』と名付けた、社員による寄付活動が行われています。

毎月、数件のこども食堂にお米を10kgずつ寄付。この活動を2020年から開始し、2022年1月時点で、70か所以上のこども食堂に、延べ1万食分を届けてきました。

そんな活動を課内で立ち上げ、社内全体での活動へと広げていった、野村不動産株式会社西日本支社 笠原俊さん(以下、笠原さん)、大塚佳子さん(以下、大塚さん)に話をお聞きしました。

自動販売機横に置かれた募金箱

野村不動産西日本支社 笠原さん(前列左)、大塚さん(後列左)と課内メンバーの皆さん

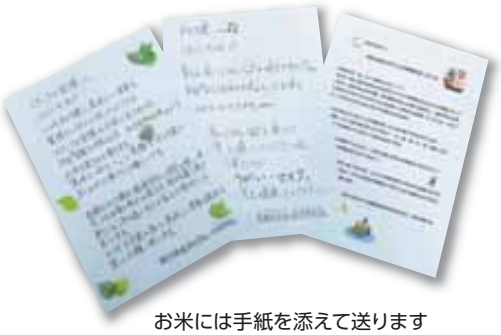
ある課内のミーティングから動き出した社内活動

活動のきっかけとなったのは、新型コロナウイルスの第一波が社会全体に暗い影を落とすさなか、笠原さんたちの課内メンバー8人で行われたミーティングです。

「企業のCSR活動としてどのように取り組んでいくか、という話をしていたのですが、純粋に誰かの役に立ちたいというのがメンバーの共通の思いでした。そして、大げさなことではなく、いま、この瞬間にも困っている人を助けるために何かをしようという話になったんです」と、笠原さん。

具体的に検討を進めていく中でメンバーが注目したのは、こどもたちへの支援です。中でも、こどもたちの心とからだの健康に関わる貧困問題について、自分たちで何か行動を起こしていこうと、自社イベントで使用したチョコレートと非常食の在庫を『地域こども支援ネットワーク事業』を通じて、こども食堂に寄付することから始めました。

実際にこども支援に携わっている人たちとつながることで見えてきたのは、こども食堂の運営の大変さや食材支援の必要性。中でもお米の寄付が喜ばれることを知り、まずは笠原さんが課を代


お米には手紙を添えて送ります

表して、5件のこども食堂にお米を寄付します。

「お米をお届けすると、すぐさま皆さんから温かいお言葉や写真が添えられたお礼状、お電話をいただいたんです。これが大きな励みになり、「何とかしてこの活動をみんなで広げていこう」と社内全体に呼びかけました」と、笠原さんは当時を振り返ります。

寄付されたお米で作った『おにぎり弁当』(にしよどこども食堂なもなも)

自動販売機のお釣りなどをコツコツ集めてお米の寄付金に

こうして始まった社内全体での取組みの中で、まずは休憩室の自動販売機の隣に募金箱を設置。ジュースなどを買った際のおつりを気軽に寄付してもらえるように工夫するとともに、こども食堂から届いたお礼状などを掲示し、自分たちの取組みの〝見える化〟も図りました。

さらに各部署にも手作りの募金箱をそれぞれ設置し、有志の社員が募金の管理を担当。それを大塚さんたちが課内でとりまとめ、毎月の半ばには募金額の中間報告を、翌月の初めには、1ヶ月の募金合計額の報告とともに、お米の寄付量や送付先、届いたお礼状などを社内全体で共有しています。

「寄付が強制になってしまうとモチベーションが下がってしまうので、誰かの助けになっている喜びを感じてもらえるように心がけています。支社長にも方針発表の場などでこの活動について発信していただけて、支社全体にこの取組みが広がっていることを実感しています」と、大塚さん。

8人の社員が最初に落とした『大河の一滴』は少しずつ量を増し、取組みを始めてから20カ月連続で、目標とする寄付量を達成。

「全社をあげて事業や取組みのプレゼンテーションを行う『野村不動産グループアワード2022』でも発表する機会を得たので、本社や各支店、グループ会社でもこの活動が広がれば」と、大塚さんは期待をふくらませます。

取組みに賛同し協力してくれる企業も登場

『大河の一滴』の取組みには、外部から支えてくれる企業の姿もあります。米穀卸業の幸南食糧株式会社が、お米を贈る文化を伝えるために設立した『株式会社 米匠庵』です。

大塚さんが、こども食堂を運営する人たちの献身的な活動や、自分たちの取組みについて話したところ、お米の価格面での協力を申し出てくれました。また、こども食堂にお米を発送する際、大塚さんたちは、こども食堂のスタッフ、そしてこどもたちへ手紙を同封しており、これらの手紙を添えた発送業務についても快く担ってくれています。

「私たちのように、こどもの貧困問題などについて「何か役に立ちたい」と考えている人は多いはず。大阪市の各企業で、このように社内でできる支援活動が広がればいいなと思っています。そして、大阪市全体の取組みとしてモデルケースになり、全国に広がることを願っています」と、大塚さん。

「この活動を継続していくことが力となり、寄付量の目標をさらに高める結果につなげていければと思っています。また、何か支援したいと考えている人には、まずは勇気を持って一歩を踏み出してほしいですね。最初は上手くいかなくても、それを何とか続けて習慣化することで、化学反応が起こることもあると思います」と、笠原さんも、大塚さんの話に頷きながらそう話します。

貧困などの問題で、こどもたちの未来から〝希望〟という言葉が消えてしまわないように。誰もがアクションを起こし、『大河の一滴』を落とすことで、大きな流れへと変わる日が待ち遠しいばかりです。

株式会社 米匠庵の皆さん

問合せ

野村不動産株式会社 西日本支社
住宅カスタマーサービス部CS推進課
Eメール owners-kansai@nomura-re.co.jp
HP https://www.nomura-re.co.jp

令和3年度大阪市ボランティア活動振興基金
※運営継続支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題に取り組む活動の継続を目的とした団体の支援

外国人留学生たちに活躍の場を

特定非営利活動法人 For International Students 機構

特定非営利活動法人 For International Students 機構（略称 フォーイスト）は、日本で就職を希望する外国人留学生に対し、就職活動の支援を行っている団体です。

大阪府高齢者大学校で国際文化交流科を受講していた仲間たちが、授業で留学生たちと交流する中で、彼らが抱く日本での就職活動への不安な思いを知り、2019年に活動をスタートしました。

金融関係や企業の海外支社で働いていた人、ITコンサルタント、国語教師など、メンバーの経歴はさまざま。これまでの社会経験を生かし、留学生に向けて、自己分析、業界・企業研究、ビジネスマナーなどの講座や、エントリーシートの添削指導、面接指導なども行っています。

外国人留学生たちに就職活動の流れを説明

「毎年企業のニーズや考え方が変化するので学生以上に勉強が必要ですが、それが自分たちの成長にもつながっています」と、副理事長の山口正人さん。

さらに、企業を訪問して話を聞く会社見学や、留学生OBから就活体験を聞く機会も用意し、就活をより具体的に感じることができるよう力を注いでいます。

「今後はさらにメンバーを増やして、お祭りなどの日本文化を体験できる企画を実現し、留学生がより日本企業を理解できるようにしていきたい」と、同副理事長の原木富夫さん。外国人留学生たちの明るい未来のために、メンバーたちは力強く伴走を続けていきます。

本番さながらの模擬面接風景

問合せ

特定非営利活動法人 For International Students 機構

Eメール for4ist@gmail.com　https://www.4ist.org

[情報マーケットP10①に募集情報を掲載]

※約1年間で回収されたキャップは、約114,000個(342kg)になりました。ご協力ありがとうございました。

※令和2年2月～令和3年1月

回収されたキャップは…

◎**大阪市立中央授産場に送られ、障がいのある人たちの仕事と収入確保に役立てられています。**※アルミ缶のプルタブも回収しています。

◎**1kgにつき10円が、発展途上国のこどもたちのポリオワクチン代として寄付されます。**

(キャップ430個で10円に、キャップ860個(20円)でポリオワクチン1人分になります。)

細かく粉砕されたキャップは、リサイクル工場に運ばれ、新しく生まれ変わります。キャップは再生されて、ごみ入れなどの日用品、植木鉢などのプランター、バンパーなどの自動車部品、物入などの収納ケース、荷造り用のPPバンド、などの原料に再利用されます。

※ゴミとして焼却されると、キャップ430個で3150gものCO_2が排出されてしまいます。

みんなの行動が、世界のこどもと地球の未来をつくります。
これからも、ご協力をよろしくお願いいたします。

大阪市ボランティア・市民活動センター入口横に回収ボックスを設置しています▶

大阪市ボランティア・市民活動センターでは
ペットボトルのキャップを集めています。

ボランティア募集、イベント・セミナー情報いっぱい！

情報マーケット

Information Market

『参加してみたい！』と思ったり、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。

ボランティア募集などの情報

イベント・講座・セミナーなどの情報

その他、助成金などの情報

OCVAC のウェブサイトから団体ホームページに簡単アクセス！

1. 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
2. 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
3. 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
4. 団体ホームページにアクセスできます！

★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

④一時保育ボランティア募集

旭区社会福祉協議会
https://sansan-asahi.or.jp/

平日 土日祝 継

子育て中や妊娠中のママを対象とした相談会や集いの場、講座の際にこどもたちの一時保育してくださるボランティアを募集しています。

日　程　不定期(ボランティア依頼があった際に、ご都合が合えば依頼させていただきます。)

場　所　旭区住宅サービスセンター(旭区高殿6-16-1)
地下鉄「関目高殿」駅⑤番出口から徒歩7分

人数・条件　どなたでも

申込方法　電話

問合せ▶ TEL/06-6957-2200 (担当:森山)

①共に活動するメンバー募集!

特定非営利活動法人 For International Students 機構
https://www.4ist.org/

平日 土日祝 継

外国人留学生の就活支援活動を行なっているシニアのボランティアグループです。一緒に活動を行なって頂ける方(日本語で大丈夫です)を募集中!

日　程　月2～3回　※その都度お伝えいたします

場　所　CANVAS谷町 2階会議室 (中央区谷町2-2-20 大阪ボランティア協会内)
地下鉄「谷町4丁目」駅1番出口から徒歩3分　他

人数・条件　外国人留学生の力になりたいと思っている人

申込方法　Eメール、ホームページ

問合せ▶ Eメール　for4ist@gmail.com (担当:山口)

⑤あさひ育み学び舎 学習ボランティア募集

旭区社会福祉協議会
https://sansan-asahi.or.jp/

平日 土日祝 継

大学生の皆さん!!ボランティア活動してみませんか?中学生・高校生の学習支援、サポートをしていただける方を募集しています。

日　程　毎週月・水曜日 18:30～20:30
毎週土曜日 13:00～16:00

場　所　旭区住宅サービスセンター(旭区高殿6-16-1)
地下鉄「関目高殿」駅⑤番出口から徒歩7分

人数・条件　学習指導経験のある大学生　定員:3人程度
※有償ボランティア(1時間あたり1,000円)

申込方法　電話(先着順)

問合せ▶ TEL/06-6957-2200 (担当:松本)

②大募集!!学校支援ボランティア

住之江区社会福祉協議会
http://www.saza73.jp/volunteer/

平日 土日祝 継

学校や幼稚園で、こどもたちのために学園生活のサポートや学習補助をしていただける人を募集しています。

日　程　学校訪問でお顔合わせ後に活動日を調整

場　所　住之江区内でボランティア依頼のある学校園

人数・条件　こどもが好きな人　※事前にボランティア登録が必要です

申込方法　電話

問合せ▶ TEL/06-6686-2234 (担当:谷口)

⑥天文宇宙講演『銀河にひそむ巨大ブラックホール』

関西で星を学ぶ会
https://sites.google.com/view/kansaidehoshi/

土日祝 単

ブラックホールとは何か?銀河の中心に存在すると言われている巨大質量ブラックホールの最近の観測状況を紹介します。

日　程　5/14(土)14:00～16:15

場　所　大阪市立阿倍野市民学習センター(阿倍野区阿倍野筋3-10-1-300 あべのベルタ3階)
地下鉄「阿倍野」駅直結
JR・地下鉄「天王寺」駅から南へ徒歩10分

人数・条件　高校生以上　定員:25人(申込多数の場合は抽選)　参加費:無料

申込方法　ホームページ　締切:5/12(木)

問合せ▶ Eメール　k337yjunamg@gmail.com (担当:モミヤマ)

③大和川清掃活動ボランティア募集!

水の声
http://www.hirano-kushakyo.or.jp/center_information

土日祝 単 継

大和川の清掃活動に参加いただける人を募集します。美しい川をよみがえらせ、次世代に伝えていきませんか?

日　程　毎月第3日曜日 8:00～
※毎週第3日曜日で参加可能な日にいつでも気軽にご参加ください!

集合場所　明治橋右岸北詰周辺 (平野区長吉長原西4-7)
地下鉄「長原」駅から徒歩15分

人数・条件　どなたでも　動きやすい服装でご参加ください

申込方法　電話・FAX

問合せ▶ 平野区ボランティア・市民活動センター
TEL/06-6795-2200　FAX/06-6795-2929 (担当:桝本・菱井)

⑪介護実習講座(入門コース)

大阪市社会福祉研修・情報センター
https://www.wel-osaka.com

平日 土日祝 継

初めて介護をされる方を対象に、家庭での介護の知識や技術を体験することで、介護への関心や理解を深めていただく講座です。

日　程 [水曜日クラス] 5/11・5/18・5/25(全3回) 各日10:00～12:00
[土曜日クラス] 6/11・6/18・6/25(全3回) 各日14:00～16:00

場　所 大阪市社会福祉研修・情報センター 介護実習室(西成区出城2-5-20)
JR「今宮」駅西出口から徒歩10分
地下鉄「花園町」駅1・2番出口から徒歩15分
地下鉄「大国町」駅5番出口から徒歩15分

人数・条件 大阪市内に在住・在勤・在学で、高齢者の介護に関心があり、全3回いずれも受講できる人
定員:各クラス16人(先着順)　参加費:500円(資料代・保険代等)

申込方法 電話・FAX・HP・郵便

問合せ▶ 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20
TEL/06-4392-8201　FAX/06-4392-8272(企画研修担当)

⑫大阪市ファミリー・サポート・センター事業提供会員養成講座

クレオ大阪子育て館
https://www.creo-osaka.or.jp/north/

土日祝 継

子どもの事故防止、心の発達など大阪市ファミリー・サポート・センター提供会員として必要な知識を学びます。地域で子育てのお手伝いをしませんか?

日　程 5/7～6/4　各土曜日 10:30～16:30(※時間変更日もあり)

場　所 クレオ大阪子育て館(北区天神橋6-4-20)
地下鉄「天神橋筋六丁目」3番出口から連絡

人数・条件 大阪市在住の19歳以上で、提供会員として登録する意思のある人
定員:30人(※多数の場合は抽選)　参加費:無料
※一時保育あり(要事前申込4/27締切)

申込方法 電話・FAX・HP・来所　締切:4/27(水)

問合せ▶ TEL/06-6354-0106　FAX/06-6354-0277
Eメール　info@osaka-kosodate.net (担当:岸)

⑬2022年度 ニッセイ財団 高齢社会助成

公益財団法人 日本生命財団
http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp

「共に生きる地域コミュニティづくり」を基本テーマに、下記のとおり募集を行います。

助成金額 1.地域福祉活動チャレンジ助成(2年間、1年最大200万円)、3団体程度
2.実践的研究助成　実践的課題研究(2年間、1年最大200万円)、2件程度
若手実践的課題研究(1年間、最大100万円)、5件程度

応募方法 HPから申請書をダウンロードし、作成のうえ郵送。　※詳細はHPを参照

応募締切 1.地域福祉活動チャレンジ助成　5/31(火)
2.実践的研究助成　6/15(水)　※いずれも当日消印有効

問合せ▶ 日本生命財団 高齢社会助成事務局
〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル4F
TEL/06-6204-4013　FAX/06-6204-0120

⑭第39回 老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業

公益財団法人 みずほ教育福祉財団
http://www.mizuho-ewf.or.jp

高齢者を主な対象として活動するボランティアグループ及び地域共生社会の実現につながる活動を行っている高齢者中心のボランティアグループに対し、利他性を有する活動において継続的に使用する用具・機器類の取得資金を助成します。

助成対象 ①グループメンバー:10～50人程度
②グループ結成以来の活動実績:満2年以上(2022年3月末時点)
③本助成を過去3年以内(2019年以降)受けていないこと
④グループ名義の金融機関口座を保有していること

助成金額 1グループにつき上限10万円

応募方法 HPから申請書をダウンロードして申請書を作成のうえ、都道府県・指定都市または市区町村社会福祉協議会の推薦を受け郵送　※詳細はHPを参照

応募締切 5/20(金)必着

問合せ▶ 公益財団法人みずほ教育福祉財団 福祉事業部
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1
TEL/03-5288-5903　FAX/03-5288-3132　Eメール　fjp36105@nifty.com

⑦新世界・黒門市場を歩く

てんのうじ観光ボランティアガイド協議会
https://www.osakacommunity.jp/tennoji/kanbora/kanbora.html

土日祝 単

新世界から黒門市場へ。「食いだおれの街・大阪」の歴史を地元ガイドがご案内します。

日　程 5/14(土) 9:30～12:30

場　所 集合/JR「天王寺」駅 中央改札前
解散/JR「難波」駅

人数・条件 どなたでも　定員:100人(先着順)　参加費:500円

申込方法 電話・FAX　締切:5/13(金)

問合せ▶ TEL/06-6771-9981　FAX/06-6774-3002
(天王寺区民センター)

⑧生きづらさを話し合いませんか?

社会の中で共に生きる会あゆみ
https://kokoronoayumi.web.fc2.com/index.html

土日祝 単

精神疾患という生きづらさを抱えた人の当事者の会です。家から一歩出て、話ができる居場所づくりを行い、生きづらさについて語り合いをしています。

日　程 毎月第3日曜日 13:30～15:00

場　所 千里ニュータウンプラザ内 南千里地区公民館(吹田市津雲台1-2-1 7階)
阪急電車「南千里」駅から徒歩1分

人数・条件 うつ病などの精神疾患、発達障がい等の当事者で、居場所を必要とされる人
参加費:無料

申込方法 電話・Eメール

問合せ▶ TEL/090-6754-6219
Eメール　dr457738@bc4.so-net.ne.jp (担当:高木)

⑨「第43期 お話の語り手講座」受講生募集

なにわ語り部の会

土日祝 継

「いつでも、どこでも、お話を」と、素語りでお話ボランティア活動をしています。お話の世界を楽しみながら、語りの方法を学び一緒に活動しませんか。

日　程 5/21・6/4・6/18・7/2・7/16・7/23・8/6・8/20・9/3・9/17
(各土曜日/全10回) ※コロナ等の影響により変更になる場合があります
各日10:00～12:00

場　所 大阪ボランティア協会 (中央区谷町2-2-20 大手前類第一ビル2F)
地下鉄「天満橋」駅3番出口・「谷町四丁目」駅1－A出口から徒歩5分

人数・条件 12人　お話の語りを通じてボランティア活動や仕事に生かしたい人
参加費:12,000円(資料代込)
(※定員を超える場合は、当会への入会希望者を優先します。)

申込方法 電話　締切:5/12(木)

問合せ▶ TEL/080-1429-4767　FAX/06-6624-4116 (担当:巽)

⑩子育てと介護の「オンライン ダブルケアセミナー」

任意団体 君彩
https://kimidori-wcare.com/

平日 単

子育てと介護が同時進行する「ダブルケア」。私たちは、ダブルケアの基礎知識から具体的な支援策まで、共に学び、共に考える機会をつくりました。

日　程 4/25(月) 10:00～11:30

場　所 オンライン開催(Zoom使用)

人数・条件 どなたでも　参加費:無料

申込方法 Eメール・HP　締切:なし

問合せ▶ Eメール　kimidori.member@gmail.com (担当:宮内)

単 単発的な活動　継 継続的な活動　平日 平日に開催　土日祝 土日祝に開催　食事あり　交通費支給　初心者OK

⑰令和4年度 河原林富美福祉基金助成 ～ボランティア活動支援事業～

大阪府共同募金会
http://www.akaihane-osaka.or.jp

故河原林富美(かわらばやしふみ)氏による遺贈金により設置した基金です。社会福祉の領域で支援を要する事業に助成を行います。

助成対象 大阪府内広域で福祉ボランティア活動を行い、一定の要件を満たす団体が、令和4年度(8月～翌年3月末)に実施する事業(※新型コロナウイルスの影響下でさまざまな福祉課題に取組む事業も含む)　※詳細はHPを参照

助成金額 1団体につき上限30万円、新型コロナウイルスの影響下で、さまざまな福祉課題に取り組む事業は50万円(助成枠500万円)

応募方法 HP上にある申請書(様式1)をダウンロードし、作成のうえ必要な添付書類を添えてメールにて提出。(※添付書類は郵送可)

応募締切 5/31(火)　※必着

問合せ▶ 大阪府共同募金会
〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内
TEL/06-6762-8717　FAX/06-6762-8718　Eメール　ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp

大切なお知らせ!!

新型コロナウイルスの感染防止のため情報マーケットに掲載の活動やイベントなどを予告なく中止・延期とする場合があります。ご了承ください。

必ず参加前に連絡して確認をお願いします

⑮第20回「配食用小型電気自動車寄贈事業」

公益財団法人 みずほ教育福祉財団
http://www.mizuho-ewf.or.jp

高齢者を対象とした福祉活動を支援するため、高齢者向け配食サービスを行っている民間団体に対し、配食用小型電気自動車(愛称:みずほ号)の寄贈を行います。

寄贈内容 配食用小型自動車1台　事業規模:14台(14団体)(予定)

助成対象 ①高齢者を主な対象とし、原則として、1年以上継続して週1回以上、調理・家庭への配食・友愛サービスを一貫して行っていること
②非営利の民間団体(法人を含む)であること
※配食事業がすべて行政からの受託である場合は、当該部門の営業利益が黒字ではないこと
③配食用の車両が不足しており、本寄贈によって円滑化が見込まれること
※詳しくはHPをご覧ください

応募方法 1.所定の申請書に必要事項を記入の上、都道府県・指定都市または市区町村社会福祉協議会、(一社)全国食支援活動協力会いずれかの推薦が必要
2.当財団宛て、推薦団体経由または直接、申請書類一式を送付

応募締切 6/10(金)必着

問合せ▶ 公益財団法人みずほ教育福祉財団 福祉事業部
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1　TEL/03-5288-5903　FAX/03-5288-3132　Eメール fjp36105@nifty.com

⑯令和4年度 赤い羽根共同募金助成申請受付 (令和5年度助成事業実施分)

大阪府共同募金会
http://www.akaihane-osaka.or.jp

地域福祉の推進を図るための社会福祉活動への助成を行っています。助成の応募・申請は、各都道府県共同募金会が受け付けています。

助成対象 大阪府内で社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体が、令和5年度(令和5年4月～翌年3月末)に実施する事業

助成金額 助成対象団体及び助成対象事業により異なる　※詳細はHPを参照

応募方法 HPから助成申請書(申請書様式)をダウンロードし、作成のうえ必要な添付書類を添えて提出。(郵送可) ※詳細はHPを参照

応募期間 5/2(月)→5/20(金)　※当日消印有効

問合せ▶ 大阪府共同募金会
〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内
TEL/06-6762-8717 FAX/06-6762-8718
Eメール　ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp

おくばっくん

情報求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしています。どしどしお寄せください。

申し込み方法 大阪市ボランティア・市民活動センターHP内の専用フォームから情報をお寄せください。 https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/

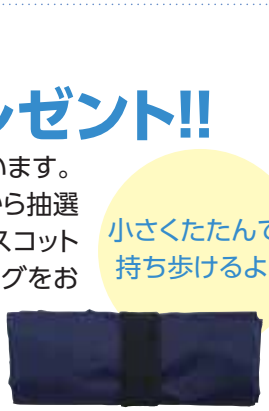
申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
天王寺区東高津町12-10　TEL/06-6765-4041　FAX/06-6765-5618 (担当:阪井・竹澤)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。
(例:2022年6月15日発行号(2022年7月号)に掲載希望の場合は2022年4月末まで)

おことわり
※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み＝掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。

OCVAC(おくばっく) オリジナルエコバッグをプレゼント!!

いつも情報誌COMVOをご愛読いただき誠にありがとうございます。P14上段の読者アンケートにご協力いただいたみなさまの中から抽選で毎号5人に、大阪市ボランティア・市民活動センター公式マスコットキャラクター『おくばっくん』をプリントしたオリジナルエコバッグをお送りします。
ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。
※応募は、ハガキ、ファックス、Eメール、またはQRコードからお送りください(P14参照)



小さくたたんで持ち歩けるよ!

縦410mm×横380mm

学生ボランティア活動 連載リレーコラム No.20

それゆけ！ がんばれ！

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

こどもを見守りながら、自分も見守られ、成長できる場所

関西学院大学
人間福祉学部
宮本（みやもと） 唯（ゆい）（22歳）

プロフィール
所属団体：リアン東さくら「陽だまり学習塾」
趣　　味：音楽鑑賞、絵を描くこと
学　　年：4年

教室でおやつを食べながら漢字の勉強

私は東成区にある「ひだまり学習塾」で大学1年生の頃から学習支援のボランティアをしています。

もともと将来は児童福祉系の仕事をしたいと考えていたため、大学入学前から、こども関連のボランティアに参加しようと思っていました。そんなとき大学の講義内で、自分の住む地域に福祉施設があり、そこでは、こどもへの学習支援事業も行っていると知り、とても興味を持ちました。

最初は学習支援ということで「こどもたちに勉強を教えるんだ！」と固く構えていました。しかし活動への参加を重ねることで、〝こどもたちが何か壁にぶち当たっているときは一緒に悩み、うまくいったときには一緒に喜ぶ〟という関わりが大切で、そしてそれが彼らにとって居心地の良さへと繋がるのだと知りました。

また、こどもたちや大学生、施設職員、民生委員を中心とした地域の方々など、多くの人が活動に参加しているこの学習塾では、私自身が学ぶことや安心することも多く、成長していくこどもたちを見守りながら、自分もまた見守られて成長しているように感じています。今ではこの学習塾が、私にとっても居場所の一つになっています。

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対　象　大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内　容　文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)

応募方法　右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先　大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041　FAX.06-6765-5618 (担当：阪井・竹澤)

エントリーはこちらから▶

アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎号5人に記念品をプレゼントします。

応募方法

①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、
本誌入手先、読者歴をお書きください。
②下記の１～６の質問の回答をお書きください。

1．あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし　イ １年未満　ウ １～４年　エ ５～９年　オ 10年以上
2．活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3．これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある　イ なし　ウ まだ迷っている（その理由も教えてください）
4．今月号で良かった記事は何ページですか？その理由も教えてください。
5．本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6．その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。
https://ws.formzu.net/dist/S38892286/

（宛先）
大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート　情報誌COMVO266号係」まで
（住所は下記参照）

※締め切り　2022（令和4）年5月10日（消印有効）
※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさえていただきます。
※お預かりした個人情報は、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。

編集後記

文部科学省の調査によれば、少子化で児童・生徒数は、年々減少しているにも関わらず、不登校の人数は増加しています。

令和3年度地域こども支援ネットワーク事業シンポジウムの基調講演及びパネルディスカッションの動画を、みなさんはすでにご覧になったでしょうか？まだという方は、地域こども支援ネットワーク事業HP（https://www.osaka-sishakyo.jp/project/child-network/）でぜひご確認ください。そのうえで、今号の特集記事を再度読んでいただければ、“不登校”についての理解がより一層深まり、こどもに関わる私たち一人ひとりが「我が事」として考える機会となるのではと願っています。

さて、今号から3年ぶりにSDGs（持続可能な開発目標）をテーマに、特集を組むことになりました。大阪のボランティア・市民活動が、SDGsにどう関わっているのか、普段の私たちの暮らしにどう関わっているかなど、多様な活動を取り上げ1年間にわたり紹介していきたいと思います。

ボランティア・市民活動情報誌「COMVO（コンボ）」へ広告募集！

赤枠が本文 1/5 ページサイズと同じです

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO（コンボ）。
大阪のボランティア・市民活動情報が満載！市民が誰でも気軽で手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

■体裁・発行・部数
B5判　16頁（フルカラー）年10回発行
■広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前（スペースに限りがありますので、お早めに申込ください）
■申込方法
下記まで問合せください

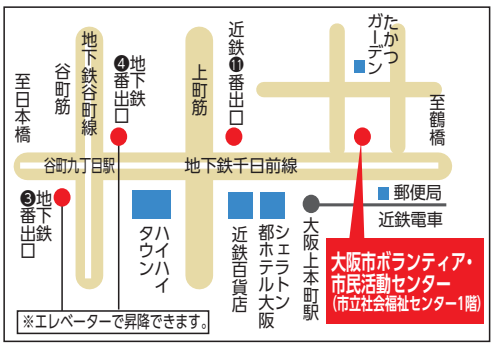
広告料金（税込）

掲載箇所スペース	料金（税込）	版下サイズ（mm）	
表4　1ページ	234,000円	240×170	
表4　1/2ページ	127,500円	117×170	
本文　1ページ	156,000円	257×182	240×170
本文　1/2ページ	85,000円	117×170	
本文　1/5ページ	38,000円	48×162	

※原稿は原寸大の完全原稿（データ）で入稿ください。
それ以外は別途製版料が必要です。
※掲載ページの指定はできません。
※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会　ふれあいネットワーク
大阪市ボランティア・市民活動センター
Osaka City Voluntary Action Center
所在地／〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F
TEL/ 06-6765-4041　FAX/ 06-6765-5618
E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/
●開館時間：午前9時～午後7時（月～金）午前9時～午後5時30分（土）
●休館日：日・祝・国民の休日・年末年始　●発行日：2022年4月15日（8月と1月を除く毎月15日発行）
●発行部数：40,000部　●制作協力：商工印刷株式会社　●点訳協力：NPO法人ぽこ・あ・ぽこ
掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。
●本誌は大阪府共同募金会の助成をいただいています



「COMVO」主な設置・配布場所　ウェブサイトからもチェック可能！ https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/comvo/

阪神電車（梅田駅・野田駅）、大阪市サービスカウンター（梅田・難波・天王寺）、各区在宅サービスセンター（区社協）、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など
※OCVAC（大阪市ボランティア・市民活動センター）では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

twitter　http://twitter.com/ocvic1998　Facebookページ　https://www.facebook.com/ocvac

森と人間、
どちらも元気にする方法が
見つかった。

インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト。地元住民が生活のために伐採した森林の再生のためには、まず彼らの暮らしを支える経済貢献が必要でした。また、植林が進んだ後は、再生した森がまた伐採されないよう、地元小学校への啓発と支援も進めました。木を植える。そのシンプルな環境貢献のために一番必要になったのは、地元で暮らす人々との対話でした。森がよみがえり、人に笑顔が戻る。私たちの環境問題への取り組みは「対話」からはじまります。

インドネシア バリヤン第二小学校

対話するエコ。

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名　称	所　在　地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万体町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668